

一 友愛會労働組合令同盟脱退ニ関スル承認ヲ求ムル件時
議 松岡駒吉、麻生久ヨリ脱退理由ヲ大畧友ノ如ク述ブ
背景ニ同盟會宛書狀ヲ以テ通告シ置キタル如ク友愛會労働
組合同盟會ヲ脱退セサルハカラサルノ旨儀ナキテ至リタルハ
他ナレ近時本会内部ニ幾多ノ暗流ヲ生シタル結果従来採リ
来リレ組合主義ノ信條ニ大ナル影響ヲ蒙リ是テハ友愛會
自体ノ結束力ニ亀裂ノ生センコトヲ危惧レタレバナリ、本会ハ本
會ノ主義綱領ニ基キタル活動ヲ継続セサル可カラズト速
ブルヤ正進會又森貞 鎌太郎ハ自己ノ組合ノ發展ト整理ニ
以テ脱退シテ而モ労働運動ヲ続行スルハ其ノ何等カノ
事情伏在スル如ク思ハル、此ハ餘リニ誠意ナキコトヲ以テ討
リ議論沸騰容易ニ決セサリトカ下中 弥三郎ノ斡旋ニ依
リ結局脱退ヲ承認スルニ決定セリ

一 同盟會本部ヲ府下西大久保町下中 弥三郎トカニ置キ、下中
 弥三郎、之田泰ノ兩人ヲ常任理事トシ未加入團體ハ
 加入交渉ノ件ヲ協議セリ、而シテ友愛會脱退ニ関スル起草
 委員ヲ水沼辰、下中 弥三郎、田中 銀次郎三名ニ託セリ

(四) 全日本銚夫總聯合會幹部會

六月二日麻布又宮村町令會事務所ニ首題會開催出席者本
 部員 麻生久、加藤勘十、三輪青壯、坂口善治、^野村正相談役、小森
 某、石本某、赤松克廣、會員及學生會、阿部登及是處聯合會理
 事可児義雄等十名友、託協定セリ
 一 労働運動ヲ為シタル爲 解雇セラレタル 銚夫及銚山労働
 二 依リ不具トナリタルモノ、爲人等四事業部ヲ開設シ之ヲ